倫理委員会が記入 → 【受付番号：　　　　　　　　　　】

法政大学大学院国際文化研究科・国際文化専攻倫理委員会　殿

研究計画申請書

記入を忘れないように → 申請者　学籍番号／教職員番号： xxxxxxxxxx

自筆によるサインを忘れないように → 氏名　　　　　　　　　　　　 （自著）

確実に確認及びサインをもらえるように、 → 指導教員 　　　　　　 　 　 （自著）

時間的余裕を十分にとって指導教員に確認を求めること。

　　　　　　　　　　　　本申請書の提出日を記入のこと → 年　　月　　日 提出

|  |
| --- |
| １．研究課題名： |
| ２．研究申請者：  共同研究者がいる場合には，全員のフルネームと所属（所属はカッコ書き）を明記すること。  申請者が法政太郎の場合の例：法政太郎，共同研究者：飯田橋花子（市ヶ谷大学） |
| ３．研究目的  研究の目的を明記する。また，通常の研究の目的に加え，データとして取得する情報が倫理上の配慮を必要とする場合（年齢・性別・所属学部学科以外の個人情報を集める場合）には，その情報をなぜ取得する必要があるのかを具体的に明記すること。 |
| ４．研究・調査の方法（別紙添付可）  研究・調査の方法をわかりやすく記載すること。また，行おうとする研究・調査に倫理的な問題がないことを確認できるように，十分な情報を添えて申請すること。原則として，質問紙調査の場合にはフェイスシートを含めた質問冊子のすべてを提出すること。倫理上の配慮が必要な情報を集める場合には，それらの情報をどのように分析に用いるのか，分析方針や予定している分析方法も明記すること。 |
| ５．研究・調査の協力者に対する危険防止，心身の影響に対する配慮の概要  研究・調査への協力は完全に任意であること，断っても不利益は生じないこと，いったん研究・調査を開始した後でも同意を撤回できることなどを，協力者に明確に伝える方法を明記すること。その他，研究・調査内容，研究・調査項目，拘束時間等に関する配慮を記すこと。 |
| ６．プライバシー，個人情報保護についての配慮の概要  「研究・調査同意書」は記名式を原則とするので，回収後には研究データと切り離して保管する旨を明記すること（インターネットによるデータ収集においても，研究・調査の同意と回収されたデータの紐付けは，データに新たなIDを付すなどしてその関連が明らかにならないよう配慮すること。またその場合は，その方法を明記すること）。研究及び調査手続きについて疑義が生じた場合には，それに対して明確な回答ができるよう，研究成果の公開後一定期間は，研究・調査同意書やデータは保管しておくこと。その後の廃棄にあたっても，研究協力者の氏名等が流出しないように配慮すること。 |
| ７．結果のフィードバックの方法  希望者にはメール等で結果のフィードバックを行うこと。「論文を公表することでフィードバックする」は不可とする。 |
| 備考  原則として，研究・調査の同意は事前に研究・調査協力者本人から得ることとする。この原則に則ることのできない場合には，その理由および保護者や後見人などの代諾者から同意を得る具体的な手続きについて備考欄に記すこと。 |

法政大学大学院国際文化研究科・国際文化専攻倫理委員会承認　　 　　　 年 　月 　日

承認番号

↑

ここは承認後に倫理委員会が記入するので，提出時には未記入のこと。ここまでを必ず１ページに収めること。複数ページにわたりそうな場合には，上記４．を中心に，資料等は別紙添付とすること。